

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
テニス ～ラケットで打とう～	中	体育 1～3年 (体育)	

<ねらい>

- ・ラケットを使って、様々な高さに設定されたボールを正確に打つことができる。
- ・ラケットを使って、力強くボールを打つことができる。
- ・ボールの動きをよく見て、繰り返しボールを打つことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・硬式テニスボールの上下に切り込みを入れ、ロープを通す。（図1）
- ・硬式テニスボールの内部には鈴を入れ、ラケットがボールに当たったことが生徒にもわかるようにした。
- ・体育館のギャラリーからボール付きロープを吊す。
- ・吊す際は、高さ調節ができるようにしておく。
- ・力強くボールを打った際は、ボールが旋回するよう作成した。（図2）

図1



図2



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・吊されているボールやラケットに興味をもっている様子であった。
- ・一回ずつボールを止めて打ったり、振り子のように動くボールを繰り返し打ったりして生徒一人一人の実態に合わせた方法で取り組むことができた。
- ・力強く打てるようになるとボールが旋回し、より強く打とうとする様子がみられた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・テニスボール（硬式）、ロープ、カラビナ、鈴